



四中だより

令和8年(2026年)
10月1日(木)
豊中市立第四中学校

秋が進む、体育大会近づく!!



10月は中間テストからのスタートです。
授業の様子や放課後の勉強会の様子を廊下から時々見ています。
真面目に勉強に取り組む姿は見ていて気持ちがいいです。
いい結果が出て、もっとやる気が出たらいいなと思っています。
わからないことをそのままにしないことが大切です。

さて9月は雨の日が多かったですね。
私が四中でいくつかの好きな光景の一つを紹介します。

雨の日の玄関前のシーンです。



わかりますか？ 玄関から離れた向こうの方で傘に付いた雨粒を払っているのです。この動作をほとんどの人がしているんです。驚きの光景です。
先生方に聞いてみると、こうしなさいと教えたことではないそうです。
靴を履き替えるところを濡らさない、こうした行為。
何の変哲もない、当たり前のようにしている何気ない振る舞いなのですが、美しいなと雨の日ごとに感じています。
もちろん全員が全員そうしているわけではありません。できていない人に私はあえて注意をしていません。言われてするのではなく、「気づき」から変わってほしいなと思っています。

テストが終わると、16日(金)の体育大会本番に向けてまっしぐらです。
今日は3年生の「四中ソーラン」の学年練習を見に行きました。

一人ひとりよく頑張っています。その人なりの頑張りをしています。
声も出しています。ふり絞っている人もいます。体育館という箱に響いています。
大切なことは、その声を「そろえる」ことです。76期生の「こえ」を作ることです。一人ひとりの声が、振りが一つになる。シンクロする、共鳴する。その時、76期生の「四中ソーラン」が完成するのです。

練習でできないことは本番ではできない、
本番に一人ひとりが頑張るだけでは、一つになったものは完成しない。
練習でできていても、一回の本番でできるとは限らない。
だから、練習を重ねて、本番を迎えるのです。
76期生の「四中ソーラン」が、多くの観客を感動させられるようになることを期待しています。

各学年の10月の主な行事

- 全学年： 中間テスト（1日、2日）・選挙管理委員会②（2日放課後）
学年練習②（5日）・係別練習①（5日放課後）
係別練習②（6日放課後）・全体練習（7日）
係合同練習（8日放課後）・予行準備（13日）
体育大会予行（14日）・前日準備（15日）
第78回体育大会（16日）・後期時間割スタート（19日）
生徒議会・委員会（23日）・班長会議（26日）
- 1年生： 校外学習（30日）
- 2年生： 職場体験事前訪問（22日午後）
職場体験（28日～30日）
- 3年生： 実力テスト③（30日）

体育大会のスムーズな進行は各係の連携が命！

9月18日に行われた1回目の学年練習では、開会式の動きを確認した後、各種目に分かれて動きを確認しました。

子育てが落ち着いてから中学校の教員になられたある先生が、「こうして細かい指導があって本番があるんですね」とおっしゃっていました。

体育大会は、前期の各学級の委員がそれぞれの係員になって運営を行います。

種目をやっている間に招集係が選手を集めて順番に選手を並べ、前の種目が終わったら、用具係が道具を設置し、準備が完了したら放送係が音楽を流し競技説明を行い、審判係が配置につき、誘導係が選手を場内に連れていき、スターターがピストルを流して、音楽が鳴り、競技が始まる。

本番が間延びせずに肅々と時間どおりに進んでいくのは、係の練習次第なのです。

先生と生徒との力が試される行事が体育大会です。実は練習がすべてなのです。

選手が順位を競い合っている裏（バックヤード）では、次々と各係が自分の仕事をきっちりと進めています。

できれば、練習の甲斐があって本番には先生がほとんど動かなくなる体育大会をめざしたいです。

『何事にも準備と後片付けがあって成り立っている。』

社会に出る前に運営ということに一度は携わってほしいなと思います。

体育大会の取り組みの裏では、後期の生徒会役員の選出に向けて、そして職場体験の準備の最終段階がこれまた肅々と進んでいるのでした。